

「なぜこんな山奥でカフェなんて。いくら強い思いがあっても誰も来てくれませんよ。本当に大丈夫ですか?」。いろいろな人から何度も言われました。「風評打破!丸森町を元気にしたい!」との一心でカフェをオープンして、半年がたちました。

夏の暑い盛りや、真冬の大雪の時も含め、この小さなカフェにおよそ七百人の方々が足を運んでくださいました。宣伝や広告もせず、看板もない中、まるでミステリーツアーのようにいらっしやうり、無事たどり着いても私一人で切り盛りしてい

東北復興日記

カフェつぶっこ オーナー店長 佐藤真紀さん

79



「もちわん」で地域に元気

るため、お待たせする。とも多々あります。それでも、お金を出して初めてコーヒーを飲んだとおっしゃる方、何度も通ってくださる方、カフェつぶっここの唄を作ってく

さったお客さまもありました。感謝の気持ちです。

一月二十五日に、「第一回まちむらもちより文化祭 MOCHIFEST」(みやぎグリーンES) (みやぎグリーン

・ツーリズム推進協議会主催)が丸森町で開かれ私も出店しました。写真の食文化「餅」を通じ、農と食をつなぐ祭典で、風評のある丸森を元気づけようと開催されたものです。県内十三地域からアイデアいっぱい十九種の餅料理を持ち寄り、「もちわんグランプリ」も行われました。

私が作ったのは黒米のクルミみそだれ餅。初めての餅作りのうえ、みそだれの味が前日まで決まらずぎりぎりまで鍋をか

き混ぜる羽目に。惜しくもグランプリは逃したものの、「みそだれが絶品だったわよ!」などと、わざわざ私の所に戻ってこられて、言っていただけいた言葉こそ、私にとってはグランプリでした。小さなカフェの小さな思いに共感してくださる人が増えて、地域の人たちと町の人たちとの交流が増えたら、丸森町はきっと元気になれると思います。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。